



きぬ聖苑

KINUSEIEN

人生の終焉にふさわしい 荘厳な空間

きぬ聖苑では、火葬炉、告別室、収骨室、霊安室、斎場、通夜室、待合室などを備えています。周辺環境の公害問題にも細心の注意をはらい、火葬炉については最新の技術を取り入れています。

近年の住宅事情等により、自宅での葬儀が困難な場合を考慮し斎場も併設しております。なお、火葬・斎場などの予約は、各市役所市民課窓口と葬祭業者から24時間受付しております。通夜時においても、遺族などが仮眠をとることもできます。



斎場棟

108人収容の式場は、パーティションで区切れる様になっております。小規模の家族葬にも対応しており、通夜から葬儀、忌中払いまでできるようになっています。利用者の利便を考慮し売店、喫茶コーナーも設けられています。



炉前ホール



喫茶コーナー



待合棟

各40人収容の待合室では、畳でゆっくりと過ごすことができます。セルフサービスでお茶の接待ができるよう道具一式が用意されています。ソファのある広々とした待合ロビーは、どなたでも自由にお使いいただけます。



待合室

副葬品の制限

副葬品によっては、周辺環境へ悪影響を及ぼす可能性があるものや、火葬中断の原因となるものについて、棺に入れないよう制限されている場合があります。

制限品目	考えられる障害
<ul style="list-style-type: none"> ●プラスチック製品、科学繊維製品 (例) ゴルフクラブ、テニスラケット、釣竿、義手義足など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイオキシン類の発生 ・焼骨の損傷 ・酸素不足による不完全燃焼など
<ul style="list-style-type: none"> ●ガラス製品、貴金属類 (例) びん類、めがね、宝石、硬貨など 	<ul style="list-style-type: none"> ・焼骨、台車への焼きつき ・炉内での爆発など
<ul style="list-style-type: none"> ●燃えにくいもの (例) 厚い書籍、ドライアイス、寝具、果物など 	<ul style="list-style-type: none"> ・多量の灰による骨揚げへの障害 ・火葬時間の延長など
<ul style="list-style-type: none"> ●危険物 (例) スプレー、ガスライター、電池など 	<ul style="list-style-type: none"> ・炉内での爆発など

※心臓ペースメーカーを装着されている場合は、必ず事前の申し出が必要。※故人の愛用品(遺品)については、可能な限り骨壺に納めることが出来ます。

映画撮影でも利用されています



映画などの撮影場所誘致や撮影支援をする機関「いばらきフィルム・コミッション」事業で、ロケ地として使用されています。この活動を通じて、茨城のイメージアップや観光など交流の促進を図っています。

使用された映画

- 「十字架」(平成28年公開)
- 「トワイライトささらさや」(平成26年公開)
- 「永遠の0」(平成25年公開)



休 苑 日 1月1日～1月3日、8月15日・16日及び友引の日
お問合わせ 〒308-0855 茨城県筑西市下川島655番地1
TEL:0296-33-6635 FAX:0296-33-6633